

## 第6回運営委員会概要及びその後の経過

日時 平成16年3月25日(木) 18:30~20:30

場所 広報センター研修室

出席者 新野会長、今井副会長、川口、武本、渡辺(丈) 酒井課長、名塚主任、鴨下事務局長

### 概要

次回定例会：4/7(水) 18:30~

- ・3者会談に至った(運転再開を判断した)県、市の考えを聞く 県・市からその点を説明できる者の出席を願いたい。
- ・それについて、委員から意見を述べてもらう。
- ・今回運営会議の案を元に今後の進め方について意見交換

### 今後の進め方

- ・定例会は半年ほどは隔月開催とする。
- ・その間の月は運営委員会の拡大版的なもので、非公開の委員のフリートーキング・勉強の場とする。

### 当面の日程

- ・5月12日(水)
- ・6月2日(水)

### 運営委員、広報委員について

- ・運営委員は留任：新野、今井、川口、武本、渡辺(丈)
- ・広報委員の交代：武本 佐藤、その他は留任：川口、佐藤、高橋、田辺、渡辺(五)

### 情報誌について

- ・情報誌は意見の羅列で、読まれていないのは問題、改善する必要がある。
- ・広報委員の責任で掲載する内容を取捨選択して簡略化し、折り込みチラシとして配布してはどうか。 折り込み方式の費用を事務局で調べる。

### 3/30の広報委員会に諮った結果

- ・費用的には折り込み方式でも対応可能だが、従来と同様、発行までに時間がかかる。
- ・折り込み方式では新聞を購読していない人には届かない(町内会配布でも学生等町内会に入っていない人には届かないが)し、チラシ・広告なので読まないことも考えられる。
- ・従って、従来どおり市町村経由で配布することとし、読まれる情報誌となるよう今後とも改善を進める。

### その他意見

- ・東電関係者による内部告発が引続き三団体に寄せられている。行政がこれらの情報提供に対する”窓口”を設けるなどして対応することを要望する。
- ・知事、自治体2首長による3者協議が26日にも開かれ1、2号機が運転再開となる。会として県ほか、自治体当局に判断の背景および根拠等説明を求めたい。
- ・全号機運転再開が進められていく中で会の役割が改めて問われることになるが、これまでの会の活動を評価すべきところは評価し、なお会の役割とは何かを問うていく必要がある。
- ・国、東電が会に対して宣言・約束した是正措置をしっかりと履行しているかを確認していく事が今後の会の中心的役割となるだろう。
- ・会で取り扱うテーマの背後に国の原子力政策があることは承知しているが、会としてはできるだけ身近な問題を扱い、当地の原発の安全確認に重点を置くというスタンスを今後とも保持すべき。